



# 大久保小だより



平成31年4月26日第2号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関2-1

048(854)7636

男子134名女子100名計234名

学校教育目標 **かいっぱい かしく やさしく たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

～ 忠恕（ちゅうじょ）のころ ～

校長 金子 要一

入学式も終わり、15日に「1年生を迎える会」を行いました。入学式に参加しなかった3～5年生とも対面し、学校生活を紹介する「大久保小〇×クイズ」などで楽しく過ごしました。1年生全員に手作りのメダルも贈られました。

さて、このところ、埼玉県やさいたま市が度々マスコミに登場しています。映画『翔んで埼玉』の公開を始め「住みたい街ランキング関東版」では大宮と浦和が4位と8位に、別の調査の「全国住みたい街ランキング」ではさいたま市が昨年の41位から6位に大躍進したそうです。そして、2024年に紙幣が刷新され、その最高額である一万円札の肖像が埼玉県深谷市出身の**渋沢栄一に決定した**と大きく報道されました。



ご存知のとおり、渋沢栄一は、第一国立銀行（現みずほ銀行）、王子製紙、東京瓦斯（東京ガス）、東京海上保険（東京海上日動）など約500社の設立や運営に関与し近代的企業の発展に尽力しました。また、社会事業にも熱心で、東京慈恵医院（東京慈恵会医科大学付属病院）、聖路加国際病院、日本結核予防協会など600もの事業にも関わり、さらに、東京商法講習所（一橋大学）や日本女子大学校（日本女子大学）など学校の創設にも関わりました。

そして、渋沢栄一は、『論語』を徳育の規範とし、その中の「夫子（ふうし）の道は忠恕（ちゅうじょ）のみ」から、「忠恕」という言葉を大切にしていたそうです。「忠」とは自分の気持ちや心を尽くす「まごころ」のことで、「恕」とは自分の心を他者に推して「思いやる」こと、総じて忠恕とは「まごころを尽くして他人を思いやること」です。

この4月をもって退位される天皇陛下も、かつて、「好きな言葉に『忠恕』があります。（中略）この精神は、一人一人にとって非常に大切であり、さらに日本国にとっても忠恕の生き方が大切ではないかと感じています。」とお話しされていました。

いよいよ来週、「平成」が終わりを告げ、「令和」の時代を迎えます。新しい時代の幕開けです。しかし、元号が変わっても、人として変わらず大切にしなければいけないのは、孔子の約2500年前からの教えである「忠恕のころ」に変わりはありません。この言葉を再確認し、令和の時代を過ごしたいものです。

さて、先ほども話題にしましたが、明日から天皇陛下の退位と、皇太子殿下の天皇即位に伴う、10日にも及ぶ休みが始まります。子どもたちには先日の朝会で、その過ごし方の話をしました。また本日はご家庭向けに文書も出しました。1年でも良い気候のこの時期にご家族と過ごせる貴重な期間です。事故無く、楽しく、充実した休みにしていただきますよう、お願いいたします。